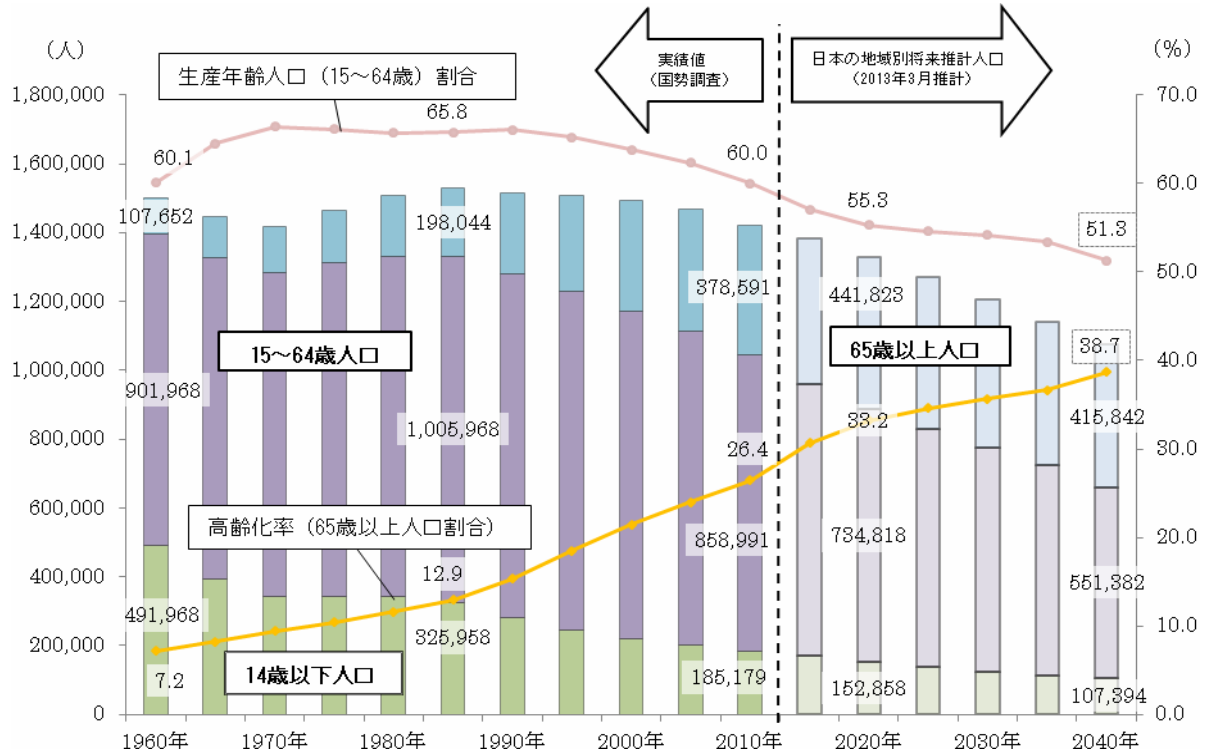


① 愛媛県の年齢別将来推計人口

2040年の愛媛県の将来推計人口 107万5千人に減少



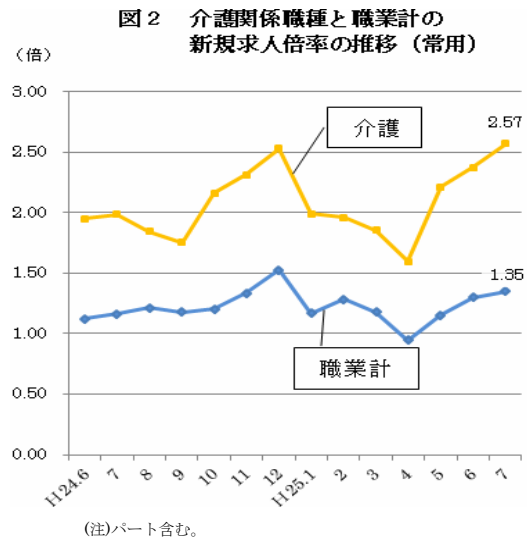
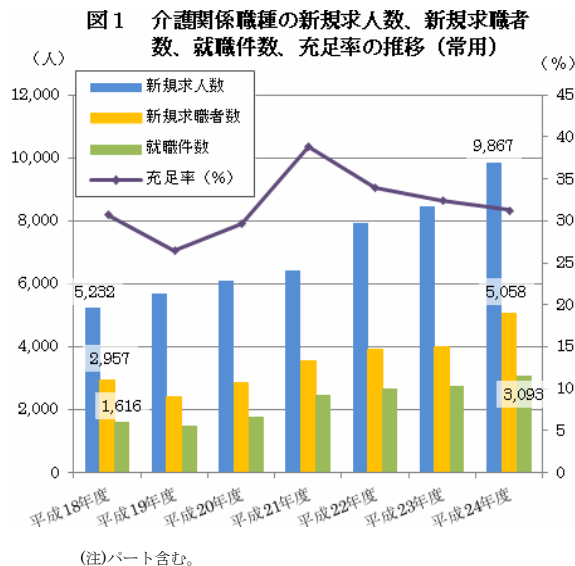
資料：2010年までは総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

○生産年齢人口の減少

- ・国立社会保障・人口問題研究所がまとめた「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」によれば、2040年の愛媛県の将来推計人口は、2010年比▲24.9%の107万5千人に減少し、**高齢化率（65歳以上人口の割合）は26.4%から38.7%に高まる見込みです。**2040年の愛媛の高齢化率は、全国平均の36.1%を上回り、都道府県別では14番目に高い率となっています。人口減少、高齢化の進行に伴って生産年齢人口（15～64歳人口）も減少し、2040年には人口の51.3%になると予測されています。（上図）
- ・このように労働力人口が減少し全産業的に労働力不足が見込まれるなかで、特に福祉・介護分野での安定的な人材確保が課題となっています。

② 介護関係職種の新規求人倍率（愛媛県）

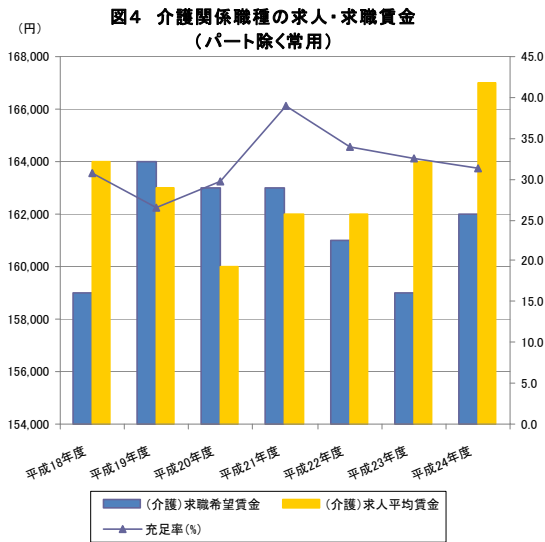
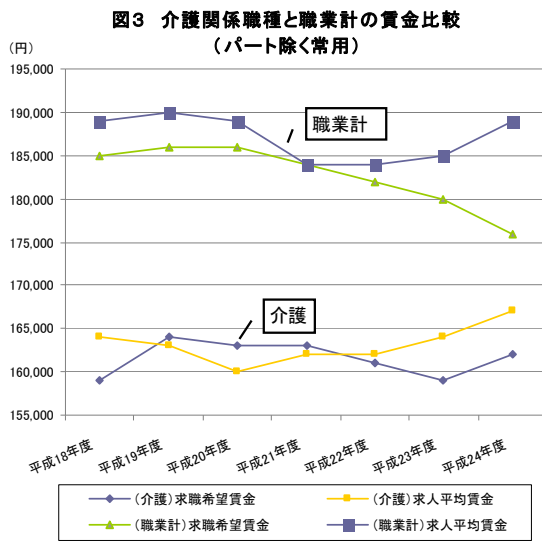
介護関係職種は慢性的な人手不足



- ・平成 25 年 7 月の主要産業別「医療、福祉」における県内の新規求人数は、前年同月に比べて 19 か月連続で増加しています。
- ・そのうち介護関係職種について、平成 18 年度から平成 24 年度の 7 年間で、新規求人数は 1.9 倍、新規求職者数は 1.7 倍、就職件数は 1.9 倍に拡大しましたが（図 1）、最近の新規求人倍率は職業計を常に上回っており（図 2）、慢性的な人手不足となっています。

③ 介護関係職種の賃金（愛媛県）

求人平均賃金が求職希望賃金を上回っているが、充足率は伸び悩み（求人・求職のミスマッチ）



- ・パートを除いた介護関係職種と職業計の賃金（月給）を見ると、介護関係職種は他の職種と比べて賃金が低いことがわかります。（図 3）
- ・平成 22 年度以降、求人平均賃金が求職希望賃金を上回っているにもかかわらず、充足率（求人数に対する充足された求人の割合）が伸び悩みなど、求人と求職の間でミスマッチが見られます。（図 4）

○愛媛労働局および各ハローワーク等では、こうした求職と求人のミスマッチ解消に向けて、次のような取り組みを行っています。

- ・ハローワーク松山では、「福祉人材コーナー」を設置して、担当者制によるきめ細やかな職業相談や「介護就職セミナー」（毎週水曜日）を行っています。
- ・各ハローワークにおいても、介護職に関する資料を提供して職業相談を行うとともに、(福)愛媛県社会福祉協議会との連携による「福祉・介護のしごと相談会」を実施しています。
- ・11月の「介護の日」に併せて介護分野の就職面接会や就職に関するセミナーなどを行う「介護就職デイ」を実施しています。
- ・介護職を希望する求職者には、愛媛県労政雇用課や(財)介護労働安定センター愛媛支部が開講している職業訓練の受講勧奨を行っています。